

＝令和元年度早川南小学校だより＝

はるき



令和元年12月2日

No.35

校長 坂野修一

明後日は創立記念日です！



VF甲府の今シーズンが終わってしまいました。退場処分で一人少なくなって厳しくなりました。過日のラグビーワールドカップでも、フランスの選手がウェールズの選手に肘鉄をして問答無用の退場処分になり、リードを守れず逆転された試合を思い出しました。退場した二人に共通していることは、試合中我を失っていたこと…。そして、あとでチームメイトに謝っていること…。熱く戦う中であっても、冷静かつ平常心で戦えるメンタルが重要だと思う試合でした。

さて、元気に話題を変えて、明後日4日(水)は本校52回目の創立記念日になり学校は休みになります。2年前の創立50周年記念事業の一環で、子どもたちが総合的な学習「春木っ子」で学校の歴史を調べ発表したようですが、ここで改めて歴史を学んだ上で創立記念日を迎えたいと思います。

校長室の耐火金庫には、「学校沿革誌」という鳥獣用いえ超重要な書類があります。その中にいろいろなことが書かれていましたので、いくつか紹介します。

- ①昭和43年4月1日80有余年の歴史を持つ本建小と五箇小が統合し、本建小の場所に五箇小から必要な備品等運び入れて、「早川南小学校」として誕生した学校。
- ②開校初年度の児童数は、なんと185人！ 年間授業日数251日！
- ③花いっぱい全国小中学校コンクール山梨県最優秀賞を受賞した祝賀式を12月4日に行い、この日を学校創立記念日にしたと記されている。校歌を発表したのもこの日！
- ④校歌を作曲した渡辺正巳氏は、なんと早川南小学校の初代校長先生！ 作詞した秋山晴時氏についてもいろいろ調べてみたら、早川北小、市川三郷町立大塚小、市川南小、南アルプス市立芦安小の作詞も手掛けていることがわかり、当時、増穂中学校の校長先生だったことがわかりました。
- ⑤昭和58年に硯島小が早川南小学校に統合され現在に至る。その当時の児童数は74人。

半世紀の歴史を積み重ねてきた本校。保護者の中にも、本校出身の方がいますね。この間、49年目を迎えた吹奏楽活動など、多くの先輩たちが築き上げてきた良き伝統があります。その伝統を引き継ぎ、早川南小学校で学ぶ「誇り」を感じる一日であってほしいと思います。そして、昔の学校の様子などをご家族で話題にする一日になれば幸いです。

早川南小学校校歌

作詞 秋山晴時
作曲 渡辺正巳

一 したたる山の濃緑に

平和の風がかがやいて

春木の川のせせらぎが

早川の瀬に合うところ

おここに

自主創造の旗のもと

学ぶ心のすがしさよ

二 大空をゆく白雲に

溪のみじが色はえて

七面山に沸くにじが

希望を結ぶ丘と里

おここに

和協進取の足なみの

そろうわれらの楽しさよ

三 ゆくてけわしく遠くとも

友愛かたきスクラムに

文化の花のかおる庭

真理のあかりともる窓

おお母校

六年ゆかしき学び舎よ

早川南小学校